

資源管理基礎調査（海洋環境）

地球温暖化バイ

清藤 真樹

目 的

青森県が策定した資源管理指針に基づく資源管理措置について、見直しの検討等に必要となるデータを収集するための海洋環境に関する調査を行う。

材料と方法

平成23年6月14日に東通村尻屋沖の定置網に自動観測バイを設置し、水深1m、5m、10mの毎時水温を観測している。観測データは携帯電話の通信機能を用いて、当研究所内サーバーにデータを蓄積している。

結 果

水温上昇期においては、上層と下層の水温に違いが見られたが、下降期はほぼ同じ水温で推移した。

また、月別平均水温（各層の水温に大きな差がないため表面水温を使用）と尻屋の定置網で漁獲される主な魚種14種類の月別漁獲量を比較すると、マダラ、ミズダコ、カレイ類で相関が高く、マダラでは13℃、ミズダコでは17℃（7～10月禁漁による影響も考えられる）、カレイ類では、18℃を越えると漁獲されなくなることが分かった（表1、図1、2）。

表1 各層の月平均水温（℃）及び主要魚種（定置網）の月別漁獲量との相関係数

	水温（℃）		
	0m	5m	10m
6月	13.0	12.6	12.4
7月	17.3	16.9	16.5
8月	21.1	20.8	20.4
9月	21.3	21.3	21.1
10月	17.8	17.8	17.7
11月	15.4	15.4	15.4
12月	11.7	11.7	11.7
1月	9.2	9.2	9.2
2月	7.2	7.2	7.2

	相関係数（R ² ）		
	0m	5m	10m
アンコウ	0.391	0.394	0.393
ブリ	0.150	0.162	0.173
サケ	0.005	0.008	0.010
サワラ	0.000	0.000	0.000
スルメイカ	0.111	0.110	0.112
カレイ類	0.694	0.697	0.697
メバル	0.097	0.108	0.113
マグロ	0.027	0.020	0.016
マダイ	0.025	0.027	0.028
マダラ	0.602	0.595	0.591
ヤリイカ	0.228	0.227	0.225
ヒラメ	0.001	0.003	0.004
ミズダコ	0.667	0.659	0.654
サクラマス	0.308	0.326	0.334

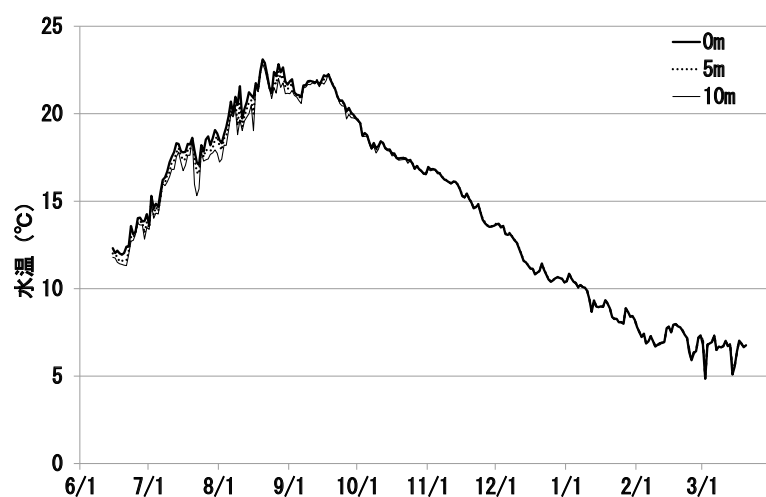


図1 日別、各層水温の推移

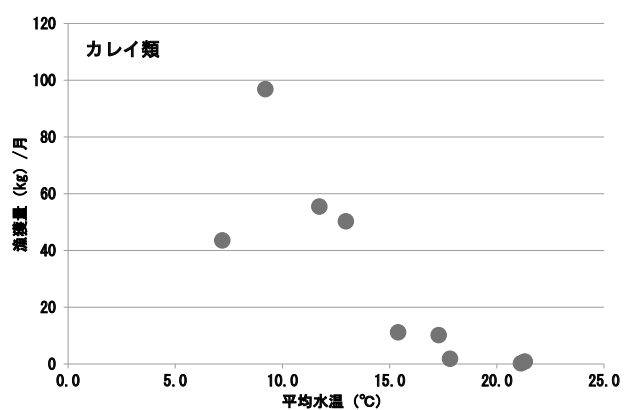
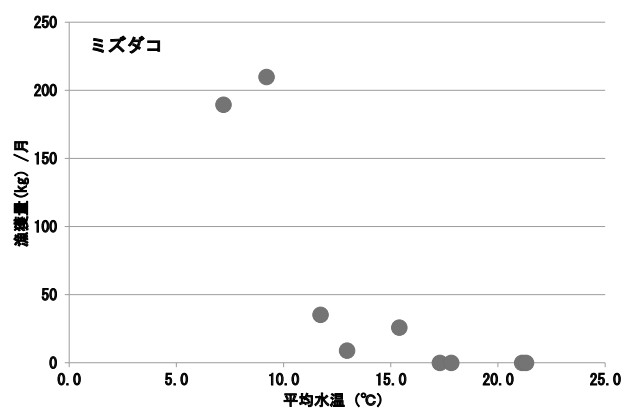
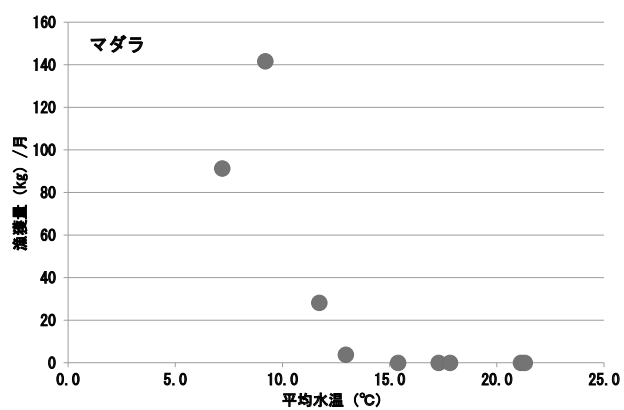


図2 月別平均水温と月別漁獲量の関係